

1	事業名称	教員免許状更新講習			
2	新規・継続	継続	3年目		
3	趣旨	新学習指導要領に示された、児童・生徒の「体験活動」についての理解を深め、教師に求められるコミュニケーション能力の向上や、自然体験活動の指導方法を身につけることにより教育内容の充実を図る。			
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日
		1回	11月2日(土)	～	11月4日(月)
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	20人			
7	共催・協力・後援	独立行政法人国立青少年教育振興機構本部			
8	参加者人数	9人			
9	参加者類型	小学校教諭(7人)、中学校教諭(2人)			
10	参加者地域	長野県(7人)、山梨県(2人)			
11	参加者分析	小・中・特別支援学校の教諭を対象に定員20名で募集した。9名の参加であったが、内7名が小学校教諭であった。			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		97%	3%	0%	0%
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・「体験活動の重要性」を伝える内容の講習は、ぜひ今後も継続していただきたい。 ・いろいろな体験学習が含まれていて、とても楽しく勉強できた。 ・もっとやりたい!とか、お話を聞きたいと思うくらい充実していました。 ・時代に取り残されないよう、教師も日々進歩的でなくてはならないと感じました。体験が感情と共に長く記憶に残ったり、生育の上でも重要だと知りました。 ・現在の課題について、体験活動の教育的意義についてわかりやすく熱く教えていただいた。ラーニングピラミッドの話は印象深い話だった。 			
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新に必要な30時間のうち、選択である「教科指導、生徒指導その他教育に関する事項」の18時間を2泊3日で受講できた。 ・全ての受講者に満足してもらえた。 ・参加者全員の履修認定ができ、履修証明書を取得できた。 ・事業の趣旨が十分達成できたと考える。 			
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・20名の募集に対し、9名の応募であった。連休中の開催であったことも含め、開催時期を検討する必要があると考える。 ・講座内容については参加者の満足度も高く、内容も充実しているので、今回の方法を続けていきたい。 			
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と比べ、講義を1時間減らし、実習時間を増やした。 ・オリエンテーリングは、足をけがしている参加者がいたため、エリアを縮小して、問題数を増やして行った。どのチームも楽しく回り、体力的にもそれほどきつくないので今後もこの方向で考えていきたい。 ・星座観察が曇天のため、実習ができなかった。日程のやりくりができればよいが、来年度以降は考えていきたい。 			

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	備考
1日目		
13:00~14:00	受付・開講式	
14:00~15:30	講義「教育の現状と課題」	
15:50~17:20	講義「学級で活かせる「体験活動を使った人間関係作り」」	
	夕食	
18:20~20:50	実習「学級で活かせる「体験活動を使った人間関係作り」」	
21:00~21:30	入浴	
2日目		
7:20~8:00	朝食	
17 9:00~14:50	講義・実習「学級で活かせる体験活動(オリエンテーリング)」	
15:00~17:10	講義・実習「学級で活かせる自然体験活動(安全対策と火おこし)」	
	夕食	
18:30~20:30	講義・実習「天体観測と指導法」	
20:30~21:30	入浴	
3日目		
7:20~8:00	朝食	
9:00~11:00	講義「体験活動の教育的意義」	
11:10~12:40	履修認定試験	
	昼食	
13:20~	閉講式	



開講式の様子



教育の現状と課題の様子



講義「学級で活かせる「体験活動を使った人間関係作り」」での一幕



講義では、ディスカッションを通してプロセスの重要性を体験してもらいました。



グループで協力しての作品作り



安全に注意しての火おこし体験



メンバーの体力を考えながら・・・